

「西宮市文化振興ビジョン第2期(素案)」に対するパブリックコメントの結果及び市の考え方について

平成30年8月10日(金)から平成30年9月10日(月)にかけて実施した意見提出手続(パブリックコメント)について、6名から26件のご意見をいただきましたので、意見の概要とそれに対する市の考え方を公表します。

貴重なご意見をいただき、誠にありがとうございました。

1. 意見提出者 6名

【内訳】

年代別	
20代	0名
30代	0名
40代	1名
50代	1名
60代	1名
70代	1名
80代以上	0名
不明	2名
合計	6名

居住地域別	
本庁	3名
鳴尾	0名
甲東	0名
瓦木	1名
塩瀬	1名
山口	0名
市外	0名
不明	1名
合計	6名

提出方法別	
郵送	0名
FAX	0名
メール	3名
電子申請	2名
窓口提出	1名
合計	6名

2. 意見件数 26件

【意見項目別】

意見項目	件数
(1) 1. はじめに～改定に当たって～	0件
(2) 2. 文教住宅都市・西宮における文化芸術の意義	2件
(3) 3. 基本的な理念	0件
(4) 4. 指針～文化芸術を拡げる	20件
(5) 5. ビジョン推進のために	1件
(6) 6. これからの西宮	0件
(7) 特徴的な事業について	1件
(8) 計画全般について	2件
合計	26件

【回答分類別】

回答分類	説明	件数
①素案に記載済み の内容です	いただいたご意見の内容は既に素案に盛り込まれています。	11件
②素案を修正します	いただいたご意見をもとに素案を修正します。	1件
③今後の参考・検討 とします	素案の修正はしませんが、いただいたご意見は今後の参考(検討)にします。	13件
④素案のとおりとし ます	ご意見の反映や対応が困難、または、市の考え方と方向性が合致しない内容です。	1件
合計	合計	26件

No.	ご意見の概要	件数	市の考え方	素案 ページ	回答 分類
(2) 2. 文教住宅都市・西宮における文化芸術の意義					
1	P14の「グラフ3」は文教住宅都市のイメージであって「文化芸術」のアンケートではない。そのような中で文化芸術についてのアンケートが不足しているのが、説得力が弱い。 また、P15の「グラフ4」も文教住宅都市に住む市民としての暮らしのアンケートであって文化芸術についてのアンケートではないので説得力が弱い。	1	グラフ3、4は文化芸術に関する導入部分として、文教住宅都市を掲げる本市で、文化芸術がいかに重視されているかについて記載しています。文化芸術に特化したアンケートやそれに付随する課題については、「4. 指針～文化芸術を拓げる」において、記載しています。	P14 P15	①素案に記載済の内容です
2	(5)「西宮における文化芸術の意義」では、西宮市ならではの文化芸術の意義づけが弱い。他市でもそう言えるようでは「西宮らしく」ないのではと思われる。もっと「西宮における」に重点をかけて論じてほしい。	1	文教住宅都市・西宮の歴史と背景に記載しているとおり、本市にはその風土と歴史から多様性あふれる文化芸術を大切にする土壌があり、ほとんど全てのジャンルにおいて、さかんな取り組みが見られます。市内には兵庫県立芸術文化センターがあり、京都・大阪・神戸でも世界の一流の芸術にふれる機会がある一方で、公民館などの身近な場では、暮らしと共にある芸術にふれることができます。様々な文化芸術にふれられる本市の特性を生かしながら、より文化芸術に関わりやすくすることで、多様性を生み出し、一人ひとりにとっての西宮らしさを見つけることができると考えています。	p 16	①素案に記載済の内容です
(4) 4. 指針～文化芸術を拓げる					
3	分かりにくい(つかみにくい)文化を、市民一人一人に分かりやすく伝えるには視覚に訴えると効果的ではないか。 民間の企画する様々な文化イベントで、申請があり一定の条件を満たしていれば、市が発行する「音楽と出会うまち西宮」などのロゴをつけることで、その企画者や参加者に改めて「文化」への意識を持ってもらうことができ、文化発信の一翼を担ってくれるように思う。 イベントだけでなく、民間のスペースなどとも積極的にコラボしたり、文化イベント向けのロゴを支給することも効果的ではないか。	1	平成16年度から開始した「音楽と出会うまち西宮」事業を市民の皆さんとともに推進していくため、事業をアピールする「統一ロゴ」を作成し、本事業に賛同いただく事業(西宮市または西宮市文化振興財団が後援する事業に限る)を対象に、ロゴ等の提供を行っております。今後も様々な主体や市民とともに当市の文化芸術の振興に取り組める環境づくりに努めてまいります。	P23	③今後の参考・検討とします
4	P24「文化芸術の情報を広める」では、確実に市民に届く方策にも取り組んでほしい。色々なメディアや最新のICTを利用した広報や近隣自治体の情報も含めた広報が必要。	4	既存の広報手段の改善や最新のICTの動向をふまえた新たな情報発信など、より効果的な情報提供に取り組んでまいります。	P24	①素案に記載済の内容です
5	他部署と連携していくためには、まず色々な政策を作っていく職員自身に文化度・文化芸術の必要性・重要性を浸透させることや、西宮への愛着度を深めるための取り組みが必要ではないか。	1	本ビジョン(案)の周知などにより、関係部署や関係機関が文化芸術の必要性や重要性を再認識し、連携を進められるよう、取り組んでまいります。	P25	①素案に記載済の内容です
6	今の学校などで弱くなっている想像し、創造することの楽しさ。それを学べる場所を作って欲しい。(子供だけでなく大人も)	1	当市では、小中学校アウトリーチ事業やワークショップフェスティバル・ドアーズ、公民館活動、宮水学園など、子供から大人までのあらゆる世代が身近に文化芸術を体験することで、豊かな創造力の育成につながる事業を展開しております。今後も生涯にわたり、創造性を高める機会となるよう、当事業の充実や新たな取り組みを進めてまいります。	P26	③今後の参考・検討とします

No.	ご意見の概要	件数	市の考え方	素案 ページ	回答 分類
7	単発的なアウトリーチ事業ではなく、地域性を考慮した単元としてのプログラムの教育プログラムの開発が必要。	1	教育と文化芸術の関わりとしては、小中学生に「本物の感動を！」という目的のもと、平成27年度から「小中学校アウトリーチ事業」を開始しています。音楽やダンス、美術などをクラス単位で、間近に生の体験ができるものとして、授業に組み込み実施しています。今後も教育委員会と連携しながらより効果的なプログラムを研究してまいります。	P26	③今後の参考・検討とします
8	西宮で生まれ、学び、職を得て、自らの生活を豊かにすることこそ文化振興につながると思う。歴史的に価値のある文化財は、多くの支援と人のかかわりがあってこそ生まれたもの。これらを伝え、守ることに加え、市民自らが新しい文化を生み出していくことができる文化振興ビジョンの改定であることを願う。	1	地域の歴史、伝統や有形、無形の文化財をはじめ、文化芸術に関する場やアーティストなど当市には、多くの文化資源があります。それらの資源を活かして、様々な趣味嗜好をもった市民一人ひとりが自ら「みる」「する」「ささえる」と色々な立場から参加できるよう、文化芸術に関わりやすい環境づくりに努めてまいります。	P26	③今後の参考・検討とします
9	文教住宅都市西宮には、文学案内の講座のように文学の目線もあると思うので、他部署との連携の一つとしてまちたびにしのみやとのコラボの方法をぜひ探して欲しい。	1	当市の既存事業においても、文化芸術の側面から、文学、音楽、アートなどの彩りを添え、より魅力的な事業となるよう、連携を進めてまいります。	P27	③今後の参考・検討とします
10	西宮はアニメの舞台や様々な映画のロケ地となっている街なので、総合芸術としての映画やアニメの切り口もある気がする。 また、まちを周遊するのが楽しくなるような「スタンプラリー」といった仕掛けも、市民を文化に誘い込む一つのアプローチではないか。	2	これまで、西宮を舞台にしたアニメとの関連事業や西宮ゆかりの文学を紹介するウェブサイト「西宮文学回廊」、同じく市内の美術作品を紹介する「西宮美術回廊」などを実施してきております。今後もアニメの舞台や映画のロケ地など、文化芸術を切り口として、まちを回遊し、まちの新たな魅力発見につながる事業に取り組んでまいります。	P28	③今後の参考・検討とします
11	絵本などを活用した若者子育て世代へも発信しやすいまちづくりへの取組みを期待したい。	1	子育て世代は、家事・育児に多忙な日々を送っている中でも子供とともに文化芸術にふれたいという意欲が強く見られます。子供も入場可能なイベントや親子で楽しめる体験型イベントなどを実施しており、今後も一層の充実を図れるよう取り組んでまいります。	P37	①素案に記載済の内容です
12	若い芸術家の育成を視点とした表現をビジョンやアクションプランにでき得る限り盛り込み、特に取り組んでほしい。あわせて、市展の抜本的な見直しの時期がきていると思うので若い芸術家の育成を視点に改革を断行して欲しい。	1	文化芸術に関わる人を増やすために、若者世代の参加は必須であると考えております。 本ビジョン（案）においても若手を中心とした芸術家を紹介できるアーティストバンクの整備や若手芸術家の育成のための様々な機能を併せ持った機関、施設の必要性等についてふれております。 アクションプランにおいても、西宮市展を含め関係団体や関係機関と連携した若い芸術家の育成への取組みを検討してまいります。	P42	③今後の参考・検討とします
13	障がいを持つ方々も更にスムーズに利用できる文化施設や文化事業への取組みを、期待したい。	1	障害のある人が「みる人」になりやすくなるための取組みを進めるだけでなく、さらに、障害のある人が「する人」にもなりやすい環境づくり、障害の有無にかかわらず市民一人ひとりがQOLの向上を図れるよう取り組んでまいります。	P44	①素案に記載済の内容です
14	ボランティアだけでは難しい質を確保したり、既存団体以外のプレーンを確保し、内容的な閉塞感からの脱却を図るため、コーディネーターの数と質が確保できる資金が必要。	1	文化芸術に関わる「ささえる人」として、人々や組織をつなぎ交流を促す仕掛けをつくることのできるコーディネーターが必要と考えています。市や西宮市文化振興財団、指定管理者だけでなく、様々な主体がその役割を担い、活動がしやすくなるよう、つながる場を増やし、コミュニティ形成につながる取組みを進めてまいります。	P45	③今後の参考・検討とします

No.	ご意見の概要	件数	市の考え方	素案 ページ	回答 分類
15	今のニーズにあった講座など催しは、企画段階で大学生を加えたり思い切った人選が必要では。面白い企画・催しがあれば、遠い南部方面でも出かけるモチベーションがわいてくる。	1	文化芸術に関わる「ささえる人」を増やすことや柔軟な発想を取り入れるためにも大学生をはじめとした様々な世代に、事業の企画から関わってもらうことは、意義があると考えています。各事業にスタッフを公募するなど、文化芸術に関わりやすい環境づくりや魅力ある催しとなるよう取り組んでまいります。	P45	①素案に記載済の内容です
16	税金以外の資金調達として、助成金の活用や企業が支援しやすいシステムづくりが必要。同時に西宮の産業振興により、元気な企業を増やすことも必要。	1	文化振興基金のPRなどにより市民や企業が文化芸術活動に対しての経済的支援を促すだけでなく、物品の提供、広告掲載など、様々な形での協賛のあり方を用意し、市全体が文化芸術を盛り上げる機運が高まるよう取り組んでまいります。 また、西宮商工会議所による「西宮ブランドづくり」事業や西宮観光協会による「まちたびにしのみや」など、産業と文化芸術が効果的に連携を図り、文化芸術の面からも産業を活性化できるよう取組みを進めてまいります。	P45	①素案に記載済の内容です
17	メディア芸術、芸術のつながりを増やす、気軽にモノづくりを体験できるようにするため「FabCafe」などを誘致して拠点を作ることや、子どもたちにデジタルな学びの場として「コーダー道場」等と組んでみるのも良いと思う。あと交流場としてコワーキングスペースなどを増やすのも有り。	1	人のつながりを生み出す文化芸術の場を増やしていくため、今後も民間との連携も含めて新たな手法を研究してまいります。	P48	③今後の参考・検討とします
18	西宮市がもつ文化資源が視覚で一覧できる冊子が求められていると思う。 「西宮文学回廊」や「西宮まちなかアート」で紹介されている場やその他のアートスペースをマップにすることで、人が街を回遊する仕組みとなれば、市民も喜ぶと思う。 さらにそのアートにスマホをかざすとそのアートの説明が見れたり、文学の舞台となったところに何かトリガーを仕掛けて置いて、その文学の一文が読めたりすることで回遊することの楽しさを倍増させることもできるのでは。 アーティストバンクや・アートスペースなどを結び付ける仕組みも面白い。	1	本ビジョン（案）のパイロットプログラムとして、作成した「西宮ライブミュージックマップ」をはじめとして、本市が持つ「場」や「アーティスト」を含めた文化資源を発信し、まちの魅力の再発見やつながりを生み出すような取組みを進めてまいります。	P53	③今後の参考・検討とします
(5) 5. ビジョン推進のために					
19	「アクションプラン」の作成にあたっては、最初の2年間でこういうことをする、次の2年間でこれをするというように年次を追って重点化して確実に実施するように取り組んでいただきたい。	1	本ビジョン（案）は10年と長期間を対象としたものとなりますので、アクションプランにおいては、段階的に取り組めるよう5年毎を対象に作成していきます。	P56	③今後の参考・検討とします

No.	ご意見の概要	件数	市の考え方	素案 ページ	回答 分類
(7) 特徴的な事業について					
20	「特徴的な事業」に挙げられている内容は、他都市でみられるような事業が大半を占めている。既存事業、新規事業を「西宮でこそ価値のある事業」、「市民が創り育てていく事業」にブラッシュアップしていくために、継続性、内容の充実、新たな西宮らしさや先進的な事例の創造、市民参加の促進等の課題を具体的にクリアしていく必要があると考える。	1	文化芸術事業は、西宮に関わる様々な人や企業が「みる」「する」「ささえる」と色々な立場から参加することで、西宮らしさを生み出していくと考えます。 今後は、関係部署や関係機関と連携しながら、より多くの方が文化芸術に関わりやすい環境を整えていくため、様々な取り組みを進めてまいります。	P68	③今後の参考・検討とします
(8) 計画全般について					
21	西宮市文化振興ビジョンであるので、項目をはじめとして「文化芸術」を問題として論じてほしい。 例えば「西宮の現状と課題」は「西宮における文化芸術の現状と課題」、「これからの西宮」は「これからの西宮における文化芸術」とするなど。 「西宮の現状と課題」「これからの西宮」では西宮総合計画の項目のように受け取られ、文化芸術と正対していないように思われる。	1	西宮市文化振興ビジョンとして、本ビジョン（案）は全体にわたり、「文化芸術」の視点から記載したものとしておりますが、より「文化芸術」についてふれていることが分かりやすいように「西宮の現状と課題」と「これからの西宮」の項目を下記のとおり修正いたします。 「西宮の現状と課題」→「文化芸術から見た西宮における現状と課題」 「これからの西宮」→「文化芸術を通じたこれからの西宮」	P14 P66	②素案を修正します
22	先の文化振興ビジョン（第1期）の総括（反省）がどの程度できているのかわからない。またそれが反映されている文言が見あたらない。	1	前ビジョンは、自然環境の保全やハード面におけるまちづくりなど、方向性が多岐にわたり、抽象的であったことから、全体的な総括は困難ですが、「4. 指針～文化芸術を拡げる」のいくつかの項目において、個別に前ビジョンを振り返りつつ、考え方を整理しています。 前ビジョンから引き続き、文化芸術を広く深く浸透させるよう取組めますが、本ビジョン（案）では、焦点を絞るため、文化芸術の分野を対象とし、「機会を増やす」、「人を増やす」、「場を増やす」の3つの施策の方向性について記載しています。	P24 P26 P33 P45	④素案のとおりとします

パブリックコメントの意見を受けて修正した箇所一覧

No.	意見 No.	素案 ページ	修正前	修正後
1	21	P1 P8 P14	(4) 「西宮の現状と課題」	(4) 「文化芸術から見た西宮における現状と課題」
2	21	P2 P66	6. 「これからの西宮」	6. 「文化芸術を通じたこれからの西宮」